

Title	三田哲学会行事報告
Sub Title	
Author	
Publisher	三田哲學會
Publication year	1991
Jtitle	哲學 No.92 (1991. 4) ,p.279- 280
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00150430-00000092-0280

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

91集に引き続いて文学部開設100周年記念論文集の第Ⅱ集を刊行し、とりあえず記念行事が滞りなく終了した。思えばここ1~2年はめまぐるしく世界が揺れ動く時であった。ソ連のペレストロイカに続く、一連の東欧改革とドイツ統一、イデオロギーから民族重視の動き、そして湾岸戦争によって再びあの宗教戦争の悪夢が現実のものになるかと思われた。国家のあり方が問い直されて、自明視されてきた諸前提に疑いの眼が向けられた時、人々は、民族や文化が人々の生き方

をいかに強く規定してきたことを改めて考えさせられたようである。更に100年を経過した時に、人々は多様な価値観を認め合い、異なる生き方を許容するまでに成熟しているのであろうか。人類の共存に向けて、哲学に止まらず広い視野から人間や社会のあり方を問い直す学問が、より強固な考え方の基盤を提供する時期が到来しているようである。我々の果たすべき使命は重いと言わなければならない。
(鈴木正崇)

三田哲学会行事報告

1990年

◇ 2月27日(火) 三田哲学会臨時総会(研究室会議室、午後3時~4時)

1. 会長の交替について
2. 文学部100周年記念行事に関して
3. 記念講演会について

◇ 5月29日(火) 講演会(塾監局 第1会議室、午後2時~4時)

「The Significance of Animal Suffering」

Prof. Peter Singer

◇ 5月30日(水) 講演会(商学部会議室、午後1時~3時)

「トリから何を学べるか——視覚と認知の比較研究——」

清水透(カリフォルニア大学サンディエゴ校、神経科学科)

◇ 6月18日(月) 講演会(日吉新研究室会議室、午後4時30分~6時)

「Intercultural Communication——とくに日米関係を中心に——」

Prof. Josef Mestenhauser(ミネソタ大学教授)

- ◇ 6月27日(水) 三田哲学会総会 (C会議室, 午後3時~5時)
 平成元年度会計報告 (承認)
 平成元年度監査報告 (承認)
 平成元年度活動報告 (承認)
 平成2年度予算案 (承認)
 平成2年度活動方針
- ◇ 7月19日(木) 講演会 (新図書館地下1階AVホール, 午後3時~5時)
 「Sanctity of Life and Quality of Life in Medicine: Not Necessarily
 in Conflict」 (生命倫理に向けて——生命の尊厳と生命の質は両立する
 か? ——)
 Prof. Edward Kaiserlingk (カナダ・マッギル大学準教授)
- ◇ 7月30日(月) 講演会 (文学部会議室, 午後5時~7時)
 「The Making of Philippine Psychology: Problems and Commitments」
 Prof. Alfredo V. Lagmay (フィリピン大学名誉教授)
- ◇ 10月27日(土) 講演会 (ABC会議室, 午後1時30分~5時)
 「認識論と認知科学——論理的アプローチの展望——」
 岡田光弘 (慶應義塾大学助教授)
 「フッサールの〈ノエマ〉概念の射程——現象学的意味論への試みとして——」
 岡本由起子 (自由学園)
 「アレキサンドリアのフィロンとストア哲学」
 大久保正健 (杉野女子大学)
- ◇ 11月9日(金) 講演会 (日吉・藤山記念館中2階会議室, 午後4時30分~6時)
 「ものごとの認識についての一考察——シュッツとルックマンの〈レリヴァ
 ンス〉論——」
 星川啓慈 (図書館情報大学助手)
- ◇ 12月1日(土) 講演会 (塾監局 第3会議室, 午後1時~3時)
 「ハーマンの感性論の世界」
 久野昭 (国際日本文化研究センター教授)
- ◇ 12月7日(金) 講演会 (422番教室, 午後5時~6時30分)
 「School Psychology in Cross-Cultural Perspective: Lessons from
 Japan-U. S. Study」
 C. Vaughn (カリフォルニア大学バークレー校博士, School Psychologist,
 San Francisco Bay Area)